

平成 29 年度事業計画案

清流・環境対策部会

(1) 身近な川や水辺の健康診断

- ① 参加を広報。参加グループ数：100 グループ、調査地点数：250 地点を想定
- ② 実施検討会を 4 月に開催し、実施体制など詳細について検討・決定する。
参集者：28 年度と同様に国・県の関係行政機関、地域部会、大学、地域で環境保全活動に携わっている方々
- ③ 調査補助指導者の派遣
新規参加者や学校などで参加する場合に、要望があれば、地域部会や会員専門機関にご協力いただき、事前講習や現地調査補助を積極的に行う。
- ④ 水生生物調査
主催の山形県環境科学研究センターと連携し、希望グループについては、「身近な川や水辺の健康診断」との同時申込可能として募集する。
- ⑤ 透視度計
例年通り、各地域において貸出担当者・場所についてご協力をいただき、参加者からの申し込み順に貸出す。
- ⑥ 調査結果集計は引き続き、公益社団法人山形県水質保全協会の協力を得て「水辺診断書」としてレーダーチャートを作成する。

(2) 美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン

- ① 参加を広報。参加グループ数：50～60 グループを想定
- ② 1 グループ当たり一律 3 千円の支援費を想定
- ③ イベントとのコラボレーションを継続して実施する。
- ④ クリーンアップ全国事務局、全国川ごみネットワーク主催の「全国水辺のごみ調査」へ情報提供にデータを提供する。

(3) ゴミ発生源対策「捨てない・すてさせない in 最上川」

- ① スポ GOMI 大会の開催
28 年度に引き続き海岸漂着物問題対策の普及啓発として、県内各地で市町村や地域の団体等と連携して開催する。
- ② 海岸漂着物問題普及啓発
「身近な川や水辺の健康診断」等の実施にあわせて、小中学生等に対して出張講座を行う。
- ③ 山形県海岸漂着物推進協議会との連携
- ④ 川ごみ団体との連携
全国川ごみネットワーク総会、「川ごみサミット」等への参加
- ⑥ ホームページ「最上川環境マップ」の整備
美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン、スポ GOMI の参加申込みや結果を随時更新し、実施場所の効率化を図る。

(4) 報告書「笑顔を写す山形の川」

28 年度と同様、冊子で作成していた報告書から変更し、「身近な川や水辺の健康診断」美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン」の結果報告を作成し、ホームページにデジタルブックとして掲載し、WEB 上で報告する。「身近な川や水

辺の健康診断」については、全県の結果を 1 枚の河川地図上に表した概要版も印刷し作成する。

(5) 広報啓発

環境展のブースへの出展等の機会を活用し、清流環境対策部会事業や当フォーラムの活動の広報、環境保全の啓発に努める。

最上川文化・地域経済活性化部会

- (1) 最上川夢の桜街道づくり
 - ① 維持管理等の相談に関して、全市町村に要望調査を行い樹木医を派遣する。
 - ② 桜守育成のための研修会「桜守養成講座」を地域部会と連携して開催する。座学、実習を規程の時間受講した方に対しては認定証の発行を行う。(前年度受講者にはスキルアップした内容の講座を開催し、認定証発行。
 - ③ 「最上川夢の桜街道づくり地域活動支援事業」や樹木医の相談等がかかわりのある団体・市町村との交流会を計画し、桜の時期に訪問するなど交流の機会を設ける。また、桜の研修会参加者等、地域で桜の維持管理活動をしている方々の全県的なネットワーク作りの支援を推進する。

- (2) 東日本大震災復興支援プロジェクト「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヶ所巡り」
 - ① 美しい多摩川フォーラムと連携し、「東北・夢の桜街道推進協議会」メンバーとして、桜をシンボルに東北の復興を目指した観光振興運動を行っていく。
 - ② 東北・夢の桜街道推進協議会主催の「第6回“美しき桜心の物語”の語り会」開催。
4月15日(土) 上山市日本の宿「古窯」コンベンションホール

- (3) 「夢の桜街道～さくら物語～」

28年度と同様に、事業報告を主とした機関誌として作成し、Web Paper でホームページ上に掲載。

- (4) 夢の桜街道キャンペーン
 - ① 4～5月にかけて協賛金融機関各支店で開催。資料・啓発物品の配布を行う。
 - ② 平成30年度の啓発物品は作成しない。

- (5) 写真コンテスト受賞作品写真展
 - ① これまでの写真コンテスト受賞作品の貸出しを希望者に対して随時行う。
 - ② さくらの時期に合わせて、夢の桜街道写真コンテスト入賞作品の展示と、桜維持管理事業の啓発も兼ねた写真展を行う。
3月31日(金)～4月14日(金) 上山市 市役所ロビーにて開催予定。
 - ③ 「かわとぴあ」などイベント会場での出展の機会を利用し展示する。

- (6) 舟運文化シンポジウム
 - ① 隔年開催としている。
 - ② 置賜地域部会等との共催により白鷹町で開催予定。

- (7) ホームページの更新

動画なども取り入れ、活動予定、報告などを中心に見やすいよう随時更新していく。

- (8) 地域おこしの紙芝居作成

地域部会で行ってきた紙芝居をスキルアップしながら地域を越えて繋いでいく。

地域部会

各地域部会が主体となり運営。地域の特性や会員のニーズを踏まえつつテーマを決め、研修会や研究会を開催する。実施に当たっては、地域住民や各種団体等が参加できるように配慮し、フォーラム活動に協力していただける団体とのネットワークを拡充する。

◇置賜地域部会

- (1) 舟運文化シンポジウムの共催
- (2) 「身近な川や水辺の健康診断」の調査サポート等への協力

◇村山地域部会

- (1) 桜の維持管理活動への協力
- (2) 村山地域で開催される「スポ GOMI 大会」へ、スタッフとして参加協力。
- (3) 「やまがた環境展」出展の際は、スタッフとして参加協力する。
- (4) 「身近な川や水辺の健康診断」の現地調査サポート（参加団体の要請があれば）
- (5) 紙芝居づくりワークショップへの参画（置賜地域部会との連携）

◇最上地域部会

- (1) 湧水地の標柱立て…5月
今までの調査地で標柱が古くなったり、紛失している場所に標柱を立て直す。
（約6か所）
- (2) 「もがみの湧水調査会」…9月
29年度は戸沢村・大蔵村の湧水箇所にて実施の予定。
- (3) スポ GOMI 大会開催…5月15日（日）金山町にて開催予定。
- (4) 桜を守り育てる研修会開催…11月6日（日）金山町にて開催予定。

◇庄内地域部会

- (1) 「身近な川や水辺の健康診断」
調査者の要望に応じて調査サポートの実施をする。
- (2) 「桜の育生維持管理研修会」
地域の要望に沿った形で開催を検討する。
- (3) 「スポ GOMI 大会」
開催について協力する。

総会・運営委員会・部会

通常総会（6月）、運営委員会（5、11、3月）、合同部会（11、3月）

その他 委託事業・助成事業・連携事業など

- (1) 山形県海岸漂着物対策推進協議会への参加
- (2) 「美しい多摩川フォーラム」との連携事業
 - ・ 東北・夢の桜街道推進協議会のメンバーとして「東北・夢の桜街道～桜の札所 八十八ヵ所巡り」の推進
- (3) 全国川ごみネットワークとの連携
- (4) 各種助成事業・基金への応募や、寄付などの獲得、その活用を行う。
 - ・ やまがた社会貢献基金（団体支援助成事業、協働助成事業（テーマ希望型））
 - ・ 山形市コミュニティファンド
 - ・ 公益信託荘内銀行ふるさと創造基金
 - ・ 水環境保全助成事業（全国浄化槽団体連合会）
 - ・ eco 証券 Web 約款寄付活動（あいおいニッセイ同和損害保険株式会社）

など